

【声明】

ロシアのウクライナ侵略に抗議し、撤退を求める

2022年2月26日

全国生活と健康を守る会連合会

会長 吉田松雄

ロシアは2月24日、一方的に「独立」を承認したウクライナ東部地域へロシア軍を派兵し、さらにウクライナ主要軍事施設を攻撃し、全土への侵攻を開始しました。これはウクライナの主権を侵害し国連憲章と国際法に反する侵略行為であり、強く抗議します。直ちにロシア軍を撤退させることを要求します。また、日本政府には日本国憲法を生かした平和的手段で対処することを求めます。

全生連は、第2次世界大戦後、人間の生命と尊厳を奪い貧困を生み出す戦争に反対し、「働かせろ、食わせろ、病気を治せ」と、生存権保障の確立と平和を求めてきました。この歴史を踏まえ都道府県連と各地の生活と健康を守る会は、怒りを持ってロシア大使館や総領事館に抗議し、「撤退」を求める行動に立ち上がっています。

全生連は、核の使用禁止はもとより、ロシアの撤退を求める取り組みをさらに強めていきます。